

2016年9月 第63号

ひとひと
女と男

きらめき

発 沖繩市役所 市民部 平和・男女共同課
行 沖繩市男女共同参画センター〒904-0003 沖繩市住吉1丁目14番29号(3階)
TEL (098) 937-0170 FAX (098) 937-0175

Kirameki

OKINAWA

沖繩市男女共同参画センター 主催講座・受講者募集!

受講
無料

沖繩市男女共同参画センターでは、だれもがその人らしく、生き生きと活躍できる男女共同参画社会をめざす為、育児や介護、仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ※に関する講座や、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)に関する講座、男性向け家事講座を開催しています。

※ リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは、「家族計画・母子保健・思春期保健を含む生涯を通じた性と生殖に関する健康と権利」という意味です。

夫婦円満の心理学講座～幸せな家庭を築くために～

「二人で一緒に人生を歩んでいこう」と約束したはずなのに・・・。
どんなに愛し合って結婚しても、夫婦にはちょっとした不満やすれ違いはつきもの。
この講座では、心理学の理論や様々な研究データを交えながら、夫に家事を分担してもら
う作戦や妻の愚痴への対処法といった身近なことから、夫婦の危機の回避ポイントまで、
問題解決のヒントを学びます!

既婚・未婚は
問いません!

日 時 10月5日(水) 午後7時～9時

講師名 片本 恵利 氏 (沖繩国際大学教授) (共催: 沖繩国際大学)



文章力アップ術講座～苦手意識を即解決!～(全3回連続講座)

良い文章を書くための留意点や説得力が10倍上がる文章の書き方、
ビジネス文書・プレゼン資料作成のコツなど、ビジネスシーンにおいて
必要な文章力を身に着的けるためのスキルを学びます!

日 時 10月7日(金)・14日(金)・21日(金) 午後7時～9時

講師名 仲宗根 満寿美 氏 (アトリエ粋代表)



各講座共通

定員: 20名 (申込多数の場合は抽選)

対象: 市内在住または在勤・在学の方

場所: 沖繩市男女共同参画センター 会議室

無料託児有(要予約)

満6ヶ月～小学4年生まで

申込締切: 9月28日(水)

申込方法: 電話・直接来所

お申込・
お問合せ先

沖繩市男女共同参画センター 沖繩市住吉1丁目14番29号(3階)
Tel 098-894-6175 (土・日・祝日を除く平日午前9時～17時)

女性活躍推進実践企業インタビュー!!

今回は、今年4月に女性活躍推進法に関する一般事業主行動計画を策定した、医療法人タピック沖縄リハビリテーションセンター病院の女性活躍推進の取り組み内容について、管理局長の玉栄亨さんへお話を伺いました!



Q：女性職員の割合と職員の平均年齢は？ — 子育て世代が多く活躍しています —

当法人は職員数989名があり、全体の55%にあたる547名の女性職員が働いております。また、職員の平均年齢が39歳で、育児をしながら働いている世代が多くいます。育児と仕事の両立支援として、産前・産後休業をはじめ育児休業や短時間勤務制度などを整備し、仕事を続けられる環境を整えています。女性職員のほとんどは産前・産後休業を終えたあと育児休業を1年間取得しており、男性職員も過去に2名が育児休業を取得しております。

Q：産休・育休の取得と復職支援の環境整備について — 相談体制を充実させ、細やかな支援を —

育児休業を終えて復職したいけれども、保育所に入所することができず育児休業を延長する職員がおります。妊娠・出産や育児休業中の支援はもちろんのこと、女性の育児休業あけの復職支援をさらに整えるために育児経験者や育休取得者の声を聞きながら窓口設置の必要性を含め検討し、支援策をより具体的なものとするための環境整備を図っていきます。また、ハード面からも安心して子育てと仕事が両立できるように、院内保育施設の設置を検討していきます。

Q：女性の活躍における数値目標は？ — 女性管理職を20%から30%へ —

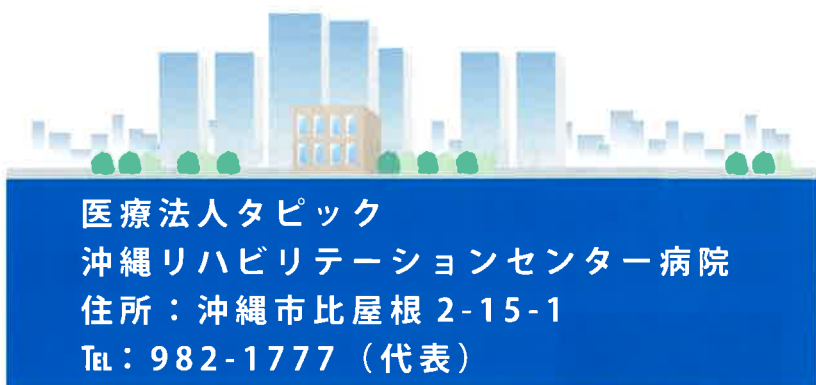
現在の女性管理職は20%ですが、今後4年間で30%を目標に推進していきます。

Q：支援をするうえで大切なことは？ — 性別に関わりなく働きやすい職場環境が大切 —

育児家事を主に担っている女性を管理職へ登用するためには、女性が働きやすい職場環境と、男性の家事育児参加の意識の啓発が欠かせないと思っています。さらには性別に関わりなく、女性も男性も働きやすい環境の整備が大切だと感じております。その視点で今後の支援を図っていきます。

最後に — 職員の健康と生活の充実が、地域医療と福祉の発展に貢献していくことにつながる —

支援の充実を図るということは、職員一人ひとりの生活をより良いものにしていく。それが当法人の方針である地域医療と福祉の発展に貢献していくことにつながると考えております。



医療法人タピック
 沖縄リハビリテーションセンター病院
 住所：沖縄市比屋根2-15-1
 TEL：982-1777（代表）

8校で開催
しました!

人権啓発講座 in 小学校

こどもは、かけがえのない存在であり、一人の人間として心も体も大切にされなければなりません。学校での差別や偏見、いじめを防止し、次世代を担うこどもたちが健やかに成長することができる環境を実現するために、今年度から男女共同参画推進事業の取り組みの一つとして市内小学生を対象とした人権啓発出前講座をスタートしました。

今回の出前講座は、Weぷらんにんぐ代表の糸数貴子氏を講師とし、「自分のこころとからだを大切にする」という視点から、一人ひとりが大切な存在であることを認識してもらうと共に、ジェンダーやセクシュアル・マイノリティ（同性愛者や性同一性障がいなどの性的少数者）についての理解を深めることで、自分や友人を大切にすることや、いじめ等を予防・解決するためのヒントを学んでもらいました。

開催期間

平成28年5月～7月

開催校(8校)

島袋小、安慶田小、山内小
越来小、中の町小、美里小
美原小、諸見小

対象

5, 6年生

友達同士で、おたがいの
違いをみとめあう!

「男らしく」「女らしく」より
「自分らしく」を大切にしよう!



講師：糸数貴子氏



越来小学校



美里小学校

受講した児童の声

- ・今日のお話を聞いて自分は世界でたった一人しかいない大切な存在だということに気づかされました。
- ・おたがいちがうからこそおたがいのちがいをみとめあうことが大切だと気付きました。
- ・人の気持ちを考えて行動しようと思いました。
- ・好きな色や性格などを人にあわせてしまうときがあるので自分らしくなれるようになりたいです。
- ・今まで「女の子」だからおとなしくしていようと思っていました。でも、今日からできるだけ自分らしく生活していこうと思いました。

先生方の声

- ・子どもたちの感想からも講演会の大切さがわかった。担任が話すよりも、専門の先生が話す方が子どもたちの理解力が増し、心に響いているように思えた。
- ・これから思春期を迎える6年生の発達段階に応じた分かりやすい講話でした。子どもたちからお互いのちがいを認めていこうという声もぎけ、大変有意義な貴重な学習となりました。
- ・いじめの問題にも関わるのでとてもよかった。一人ひとりを認めるという内容はとてもよくて、その後の道徳もやりやすくなった。



沖縄市女性団体連絡協議会

沖縄市女性団体連絡協議会は、平成3年に結成され現在市内13団体が加盟(1団体休会)し、述べ1万4千人の会員がいます。平等・発展・平和の理念の下、会員の資質向上と地位向上、男女共同参画社会の実現及び沖縄市の活性化を図ることを目的に活動しています。

宿泊研修を行いました！

7月7日(木)～8日(金)に、会員の資質向上、地位向上の推進と加盟団体相互の連携・連帯を図ることを目的に宿泊研修を行いました。

7月7日(木)、沖縄残波ロイヤルホテル会議室にて、おきなわ女性財団常務理事兼事務局長の垣花みち子氏の講話の後、「沖縄市立図書館整備基本計画の概要等について」をテーマに沖縄市教育委員会の担当職員からの説明を受け、沖縄市女性団体連絡協議会として、何ができるのかなど活発な意見交換を行いました。



2日目の研修では、恩納村文化情報センターの視察を行い、担当職員からセンターの概要説明と施設の案内を受けました。1階には観光案内フロアや多目的ルーム、2階には図書情報フロアも設けており、窓から見える青い海を眺めながら贅沢な読書のひとときを過ごすことができる施設に感動いたしました。

平成28年5月24日(火)の沖縄市女性団体連絡協議会総会におきまして役員交代がありました。

会長	与那嶺奈美子 (沖縄市母子保健推進員協議会)	理事	栗村 由美子 (沖縄商工会議所女性会)
副会長	平田 美砂子 (沖縄市母子保健推進員協議会)	理事	友寄 昭子 (コザパイロットクラブ)
会計	上間 恵子 (沖縄市女性防火クラブ)	理事	川上 のり子 (沖縄市婦人連合会)
監事	名幸 直子 (沖縄市更生保護女性会)	理事	仲眞 由利子 (沖縄市農漁村生活研究会)
監事	島袋 禮子 (沖縄市赤十字奉仕団)	理事	宜名真富喜子 (国際ソロプチミスト沖縄-球陽)
理事	桑江 喜代子 (一般社団法人 沖縄県助産師会)	理事	奥間 由紀江 (沖縄市PTA連合会)
理事	宇根 梢 (沖縄市母子寡婦福祉会)		

～市議会を傍聴して～

沖縄市の政策・方針決定の場への関心を高め、有権者としての意識向上を目的に、平成28年6月第382回沖縄市議会定例会を傍聴してきました！



私たちが、選出した議員の皆さんが議会でどのような活動をしているかを知るには、議会を傍聴することが一番です。当日は、教育行政についての質問があり、本市に於ける子どもの貧困の現状と対策、新図書館オープンに伴い旧館の跡利用、小学校での英語教育、キャリア教育の目的、学力向上の取り組みについて活発な議論がありました。議会は市民生活の課題が見える場であり、皆さんも議会傍聴に出かけてみませんか。 沖縄県助産師会 桑江喜代子